コンニャク在来優良系統について

1 試験のねらい

県内各産地で栽培されている在来種の持性、生産力、品質等を比較検討し、本県に適する優良在 来系統を選抜する。

2 試験方法

県内6産地から収集した17系統を昭和52年度から54年度に生産力を検討し、昭和53年と54年は品質を検討した。昭和5.7年度は形態的特性を調査した。

産地別供試系統数

粟野・4系統, 鹿沼・2系統, 馬頭・2系統, 黒羽・2系統, 茂木・6系統, 市貝・1系統 耕種概要及び供試条件

	年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年周	度	昭和5	7 年度
項目	単位年生	1年生	2 年生	1年生	3年生	2年生	3年生
植付時期	月•日	5. 2 0	5. 1 7	5. 2 2		5.24	5. 2 4
栽植様式	畝幅×株間	60×12 二条千鳥	60×20	60×12二条千鳥	60×30	1 00×40	100×50
1区面積	m^2	7. 2	7. 2	7. 2		4	5
区制		1 区制	1 区制	1 区制		1区制	1区制

3 試験結果及び考察

出芽期・開棄期の系統間の差異は、栽培年生及び栽培年度により変化し、系統による一定の傾向は把握しがたかったが、概して、馬頭、黒羽、茂木産の系統に遅いものがみられた。り病性は、黒羽、馬頭、市貝の系統が高かった。

球茎重も、栽培年生及び栽培年度により変動があり、系統間の差異が把握しにくかったが、栗野 鹿沼産の系統と茂木産の系統の一部に比較的球茎重の重いものがあり、馬頭、黒羽、市貝、茂木産 の一部に低いものがみられた。

品質は、黒羽の1系統と馬頭の2系統が荒紛歩留が高く、精粉歩留は、粟野、鹿沼、及び茂木産の1部に高いものがあった。

形態的特性は,在来種の中でも差異があり,また系統内でも形質の異なる個体が認められ均一性 に欠けるものがあった。

4 成果の要約

県内の在来種を同一条件で栽培し、形態的特性、生産力、品質を比較検討した結果、栽培年度及び栽培年生により変動する中で、粟野産の2系紙真名子産、入粟野産鹿沼産の1系紙草久産の3系統が収量、品質ともに安定した生育を示した。しかし3系統とも、草型、葉柄の地色、斑紋の分布などの形質が不均一であった。 (担当者 作物部 岡村五郎 相良沢秀夫)

※現真岡農業改良普及所

表-1 形態的特性調査

項目	草 型	葉色		小	葉				葉			柄			
系統名		1	型	大きさ	数	地	É	6	斑紋の大小	斑紋の分布	斑	紋の	色	白 斑	小突起
粟野 1	T先垂	6.5	やや長 (稀丸)	大 (先 <u>小</u>)	中	淡稀	和 淡		小	点		濃		無	無
″ 2	T (稀先垂)	6.5	やや長	大	中~多	淡混	紅•淡絲 在		小小	点		濃		"	11.
″ 3	T • T先垂 混 在	7. 0	やや長	大。	中	淡	糸	I	小小	点	(稀	濃	中)	"	"
″ 4	T先垂	7. 0	やや長	大	中~多	淡 (稀	紅		小 (稀 中)	点 (稀 多)	中	~	濃	"	"
鹿沼 1	T 先 垂 (稀半Y)	7. 0	やや長	大 (先 小)	中	淡混	紅•淡緑 在		小	点 (稀連続)	中	~	濃	"	<i>//</i> ·
″ 2	T先垂	7. 0	やや長	大 (稀先/小)	中	族	紅		小	点 (稀点多)	(稀:	濃 中• ᡮ	亟濃)	"	"
馬頭 1	T (稀先 垂• 半Y)	7. 0	やや長	大 (先 小)	中	<i>淡</i> 混	紅• 淡彩 右		小	点		中		"	"
″ 2	T先垂	7. 0	やや長	大 (先 小)	中	淡	紅	-	· · · //	点	中混	-	濃在	"	"
黒羽 1	T 先 垂 (稀半Y)	6.0	やや長	大 (稀 中)	小•中 混 在	族	緑	۲	· 小	点 (稀地際多)	(稀	中	//////////////////////////////////////	//	"
″ 2	T 先 垂 (稀半Y)	6.0	やや長	大	,中	淡	紅	-	小	点	中混		濃在	無 (稀• 有)	"
茂木1	T 先 垂	7. 0	やや長	大 (稀極大)	中 (稀少と多)	淡紅混	① · 淡緑 在	=	小	点 (点 多)		濃		無	"
″ 2	T 先 垂	6.5	やや長	大 (稀先/小)	中	淡稀	緑		小	点 (稀点多)		濃		"	"
" 3	T · T先垂 混 在	6.5	やや長	大 (稀先小)	中 (稀やや小)	淡 稀	和 淡 <i>緑</i>	ŧ)	小	点 (稀点多)	(稀	濃	中)	"	"
″ 4	T 先 垂 (稀 T)	7. 0	やや長	大	中	淡 (稀)	緑 禄• 淡紅	ķ	小	点	稀	濃	中)	"	"
<i>"</i> 5	T 先 垂 (稀半Y)	7. 0	やや長	大 (稀先小)	中	淡稀	緑 淡 紅	į ()	小 (稀 中)	点 (稀点多)		濃		"	"
<i>"</i> 6	T 先 垂 (稀 Y)	6.0	やや長	大 (先 小)	中	淡 (稀	緑 录• 淡紅	ķ	小	点 (稀点多)	中	~	濃	"	"
市貝 1	半Y先垂	6.5	やや長	中•大 混 在	多と中	淡	紅	:	大と小 混 在	点 · 連続 混 在		族		有•無 混 在	"
あ か ぎ おおだま	半Y先垂	6.5	や長	小	多	淡	紅		中	連続	淡	~	中	有	"
はるな く ろ	Y	7. 0	やや長	小	中	淡	紅		大	連 続	濃	~	中	有	"

注 葉色は富士葉色カラースケール (野菜用)

表-2 1年生栽培

	出 芽	開棄	開棄の	葉 身	· 莱 桥	葉柄直径	球型	基重kg/	´a	健全球率%	生子重	
系統名	期 月•日	期 月•日	開葉の整否	長 cm	長 <i>c</i> m	径 cm	総	健全	不良		重 kg/a	着 生個 ———
粟 野 (1)	6.19	6.27	整	2 7.5	2 4.0	1.4	253	210	43	74	4 4	1.7
(2)	6.22	6.29	整~否	2 9.2	2 6.5	1.5	244	187	57	6 5	39	1.6
(3)	6.20	6.27	整	2 7.9	2 3.0	1.4	249	210	39	7 4	51	1.9
(4)	6.2 2	6.29	整~否	2 7.7	2 4.8	1.4	226	181	45	70	4 3	2.0
鹿 沼(1)	6.19	6.27	整	2 8.0	2 2.1	1.4	238	203	35	73	3 6	1.5
(2)	6.21	6.28	整~中	2 7.2	2 3.4	1.4	228	177	51	6 6	3 5	1.6
馬頭(1)	6.21	6.28	整~否	2 6.7	2 1.5	1.4	174	113	61	4 5	2 4	1.2
(2)	6,25	6.30	中~否	2 4.1	2 0.6	1.3	116	86	30	5 3	16	1.0
黒羽(1)	6.25	7. 1	中~否	2 8.9	2 5.4	1.5	178	1 3 5	43	61	25	1.5
(2)	6.18	6.26	整	2 6.1	2 1.1	1.3	162	107	55	5 1	38	2.1
茂 木(1)	6.21	6.29	中	3 0.0	2 5.2	1.5	194	169	25	73	38	1.7
(2)	6.20	6.28	整	3.0.3	26.8	1.5	243	226	17	8 3	3 0	1.4
(3)	6.21	6.28	整~否	2 8.1	2 4.5	1.4	213	171	42	6 6	3 5	1.6
(4)	6.21	6.28	整~中	2 8.2	24.4	1.5	152	104	48	5 8	3 2	1.9
(5)	6.26	6.25	中~否	2 7.0	2.4.7	1.4	1 3 9	102	37	5 4	21	1.4
(6)	6.21	6.24	整~中	2 6.5	2 2.2	1.4	183	156	27	6 6	3 0	1.5
市 貝(1)	6.24	6.29	中	2 9.7	3 0.0	1.5	191	151	40	6 5	21	1.5
平均	6.2 2	6.29		2 7.8	2 4.1	1.4	199	158	41	6 5	3 3	1.6

注1 不良球は、り病+発育不良球(509/個以下)

2 昭和52年,54年の平均値

表一3 2年生栽培

_		出芽期	開	葉期	開葉	生	育 調	査	球茎	重(kg,	/a)	健全		1 株生	生 子	肥大	対精	精粉	粒子組	戎(%)
系統名		月 日	月	日	整否	葉身長 cm	葉柄長 cm	葉柄直 径 cm	総	健全	不良	T球率 (%)	重 (kg/a)	子着生 数	1個重(8)	率 (倍)	生粉 茅留	大	中	小
粟	野(1)	6.27	7.	5	整	5 2.4	5 6.9	2.9	264.9	239.0	2 5.9	7 6.7	2 2.6	2.3	11.4	3.9	1 1.2	3 0.5	3 0.0	3 9.5
	(2)	6.26	7.	5	"	5 5.0	5 9.1	3.0	286.8	251.2	3 5.6	8 1.6	1 3.5	1.4	1 0.8	4.2	9.9	3 0.5	2 8.4	4 1.1
	(3)	6.23	7.	2	"	5 1.6	5 5.9	2.8	268.7	230.9	3 7.8	6 8.1	1 7.2	2.2	9.3	4.6	1 1.2	3 3.0	3 2.1	3 4.9
	(4)	6.24	7.	2	中	4 7.7	5 1.7	2.5	237.6	182.3	5 5.3	6 6.7	1 5.2	1.9	9.8	4.1	1 0.9	3 5.8	3 2.1	3 2.1
鹿	沼(1)	6.23	6.	3 0	整	5 0.2	5 3.2	2.7	232.9	199.1	3 3.8	7 3.6	1 7.2	2.1	9.9	4.3	1 0.7	3 4.2	3 1.4	3 4.4
	(2)	6.24	7.	2	"	5 4.4	5 7.3	2.7	348.8	324.7	24.1	8 6.1	1 5.4	1.9	9.9	5.5	1 1.3	3 7.5	3 0.3	3 2.2
馬	頭1)	6.21	6.	2 9	"	4 8.2	5 0.0	2.6	207.1	175.3	3 1.8	7 1.7	1 9.3	2.9	8.0	4.1	1 0.6	3 1.4	3 1.5	3 7.1
	(2)	6.24	6.	30	中	37.8	3 4.4	2.3	106.1	85.1	2 1.0	47.9	1 0.2	1.3	9.7	3.2	8.0	3 0.6	3 0.8	3 8.6
黒	羽1)	6.22	6.	29	"	4 4.9	4 4.9	2.5	171.3	152.0	1 9.3	5 8.8	1 5.9	2.0	9.5	3.9	1 0.7	3 5.1	2 9.6	3 5.3
	(2)	6.24	7.	3	"	4 2.0	4 2.0	24	133.6	106.5	2 7.1	6 1.1	1 3.1	2.0	7.8	5.5	1 1.0	3 3.2	3 1.3	3 5.5

		出芽期	開棄期	開葉	生	育 調	査	球茎	重(kg/	(a)	健全		1 株生	生 子	肥大	対精	精粉	粒子組	成(%)
	統名	月日	月日	整否	葉身長 cm	葉柄長 cm	葉柄直径 これ	総	健全	不良	不良	重 (kg/a)	子着生 数	1 個重 (g)	· 率 (倍)	生粉歩 第	大	中	小
茂	木(1)	6.2 2	6.3 0	整	47.6	5 0.4	2.7	2 0 9.3	185.4	2 3.9	8 0.6	1 9.6	2.3	1 0.1	4.5	8.5	3 4.4	3 7.8	3 2.8
	(2)	6.2 1	6.30	"	5 0.7	5 5.4	28	267.9	237.8	30.1	7 6.4	1 2.9	1.6	1 0.0	4.2	1 1.9	3 0.2	3 3.7	3 6.1
	(3)	6.24	7. 3	"	4 9.9	5 5.0	2.7	215.4	171.3	4 4.1	69.4	1 5.7	23	8.2	3.8	1 1.4	3 0.8	3 2.1	3 7.1
	(4)	6.2 5	7. 5	"	4 2.5	4 3.0	2.4	1 5 8.8	127.7	3 1.1	60.7	1 3.7	22	7.4	3.4	1 1.3	3 4.8	3 0.0	3 5.2
	(5)	6.25	7. 4	"	4 7.6	5 2.2	2.5	216.1	185.8	3 0.3	76.0	15.7	2.3	8.2	4.2	9.1	3 4.1	3 3.1	3 2.8
	(6)	6.25	7. 3	中	4 6.6	5 2.3	2.5	191.6	1 6 4.9	2 6.7	7 3.6	11.1	1.7	7.8	3.9	1 1.3	3 0.8	3 3.0	3 6.2
市	貝(1)	6.2 5	7. 2	整	4 9.2	5 5.2	2.5	211.6	206.6	5.0	90.3	1 2.2.	2.1	6.8	3.7	1 0.5	2 3.8	3 3.8	4 2.4
17系	統平均	624	7. 2		4 8.1	5 1.1	2.6	219.3	189.7	29.6	7 1.7	1 5.3	20	9.1	4.1	1 0.6	3 2.4	3 1.8	3 6.1
変 動	係数	1.5	2		4.5	6.5	0.2	5 9.1	5 7.1	1 0.8	1 0.6	3.2	0.4	1.3	0.5	1.1	2.1	2.1	3.0

注1. 不良球は、リ病球+発育不良球(1009/個以下)

表-4 3年生栽培

系;	統名	出芽期	開	葉期	開葉	葉身長	葉柄長	葉柄直	球茎	重(kg/	/a)	健全 - 球率	肥大倍率	生子重	1 株	生 子 一個重	精歩 粉留
		月日	月	日	整否	(cm)	(cm)	(cm)	総	健全	不良	(%)	(倍)	(kg/a)	生子数	(8)	96
栗	野(1)	6.2 2	7.	4	中	71	6 3	4.3	6 5 4.9	3 6 1.6	2 9 3.3	52	3.8	5 9.1	7.0	1 5.3	1 2.3
"	(2)	6.21	7.	2	整	7 5	70	4.5	572.4	3 7 1.1	2 0 1.3	40	3.2	2 5.6	5.3	8.7	1 2.2
"	(3)	6.21	6.	3 0	" "	7 4	68	4.4	5 5 2.2	394.4	1 5 7.8	64	3.2	4 1.1	5.4	1 3.6	1 1.2
"	(4)	6.21	7.	3	"	80	70	4.5	7 3 6.4	5 0 0.0	23 6.4	56	4.3	2 3.1	3.4	1 2.1	1 1.4
麂	沼(1)	6.21	7.	3	"	76	68	4.3	504.7	3 4 6.7	1 5 8.0	56	3.0	27.9	4.0	1 2.7	1 1.9
"	(2)	6.2 1	7.	. 2	中	75	67	4.3	679.3	5 5 8.9	1 2 0.4	76	3.8	3 5.1	4.8	1 3.2	1 1.7
馬	頭(1)	6.21	7.	3	整	72	65	4.3	5 4 3.5	476.6	6 6.9	64	3.5	4 5.7	5.9	1 3.9	1 2.4
"	(2)	6.24	7.	5	否	50	4 3	2.8	224.2	1 2 1.8	102.4	38	3.2	3 0.6	5.1	1 0.8	9.8
黒	羽(1)	6.2 2	7.	6	中	68	63	4.2	499.8	3 5 8.9	1 4 0.9	64	3.5	3 7.1	6.1	1 1.0	1 0.1
. "	(2)	6.21	7.	2	整	6 4	57	3.9	3 4 2.9	2 0 0.2	142.7	44	3.1	4 4.4	7.2	1 1.1	9.3
芝	木(1)	6.21	7.	4	"	70	65	4.6	496.2	3 2 1.1	175.1	52	3.1	3 0.4	4.6	1 1.9	7.5
"	(2)	6.21	7.	6	中	78	69	4.7	670.9	3 7 0.0	3 0 0.9.	52	3.7	3 0.4	5.2	1 0.5	1 0.4
"	(3)	6.21	7.	3	"	7 5	65	4.3	50 2.3	275.6	226.7	44	3.2	3 8.4	4.6	1 5.2	1 1.3
"	(4)	6.23	7.	5	"	7 4	66	4.2	410.2	2 2 0.0	190.2	40	2.9	3 1.6	5.0	1 1.3	1 1.0
"	(5)	6.2 1	7.	4	整	7 2	6 5	4.4	478.0	3 4 7.8	1 3 0.2	56	2.9	3 0.9	4.6	1 2.1	9.9
"	(6)	6.22	7.	5	中	74	63	4.3	3 9 3.1	1789.	214.2	48	2.7	2 1.1	4.0	9.6	1 0.4
क्त	貝(1)	6.21	6.	3 0	整	7 3	67	4.3	5 9 9.7	4633.	1 3 6.4	64	3.9	2 3.9	4.7	9.2	9.6
17系統	克平均	6.2 1	7.	3	_	7 1.8	64.3	4.3	5 2 1.2	3 4 5.1	176.1	5 3.5	3.4	3 3.9	5.1	1 1.9	1 0.7
変動	係 数	1		2	_	6.8	6.3	0.4	1 3 0.9	118.5	6 3.7	10.6	0.4	9.7	1.1	1.9	1.3

注 不良球は リ病球+発育不良球(2008/個以下)

^{2.} 精粉粒子組成は 大: 0.25至以上,中: 0.25~0.177,小:0.177至以下